



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



桃の節句に新入生来る



3月3日、「桃の節句」、通称「ひなまつり」で女の子の日とされています。そんな3月3日に、伊里小学校6年生たちが中学校にやってきて、「1日体験入学」しました。もちろん女の子だけでなく、男の子も元気にやってきました。

緑陽会館に集合して開会です。校長先生のお話の後、「校長先生を知っていた人？」続いて「教頭先生を知っていた人？」と尋ねると、ほとんど全員が手を挙げました。これぞ小中一貫教育の成果の一つではないでしょうか。おそらく他所ではこうはいきません。

ちょっと時間が余ったので、「教頭先生は何の教科の先生でしょう？」と尋ねてみました。さて？「理科！」「ブー、「数学！」「全く違う！！」、「社会！」「全然。「家庭科！」「何でじゃ！」「何もない」「何じゃそりゃ、「体育」「ブブー」、そしてやっと「美術」ときました！「図工」でなく「美術」と答えたところがエライ！

それにしても、やはり予想通りなかなか当たりませんでした（苦笑）。当ててもらえないんですね、私。今回なんてむしろ早かったくらいです。そんなに芸術の香りがしないかしら？と、ちょっとグスン状態の秋山でした（泣）。



元気に校門に入って来ました。



「春」を「入学」に変えてお出迎え
「もうすぐ入学ですね。」



校長先生のお話です。

来年度の1年生は1クラスになる予定です。なのでこの日参加した34名が一斉に授業を受けてもよかったのですが、少しでも多くの体験を、ということで2グループに分かれてもらいました。

今年の体験授業は「音楽」と「数学」です。

数学では担当の早川先生が、なぜか英語であいさつ。さすがアメリカ帰りですね（笑）。続いてご自身の成長記録が電子黒板に（笑）。授業の内容は「タングラム」。与えられた7つの図形を動かしてさまざまな形を作っていきます。児童たちは楽しみながらもとても苦労していました。私もサッパリコンでした。美術の教員なのに、図形は苦手というか、数学的な思考ができないんですね。早川先生が最後に、「中学校で3年間頑張れば、この20ある図形は全部できるようになります！」と言われ、児童たちも心なしか「よし、それなら頑張ろう！」というオーラを出したように思いました。私も「もう一回入学し直そうかしら」と、一瞬思いかけました（苦笑）。



若かりし頃の写真が…。



さて白鳥ができるかな？



頑張っています。

音楽は森先生。軽妙なお話、あっという間に児童たちも引き込まれていっていました。口で吸って口から吐き出す歌唱用の呼吸の仕方を習い、大きな声で「ワッ！」と叫ぶと、声とともに緊張も吹き飛び、とてもリラックスした雰囲気になっていきました。

そして「伊里中学校校歌」練習に入ります。来る入学式で、少しでも歌えるようになってもらって、みんなで一緒に校歌を歌いたい、との思いから体験授業で音楽を実施しています。これも、あっという間に大きな声で歌えるようになりました。もちろん歌詞は見ながらですが、それでもすごいです。森先生も大絶賛されていましたね。入学式が楽しみです。



ユーモア交えてお話中。



立って校歌を練習します。



3番まで通して歌えました！

生徒会執行部からの説明です。学校生活の日程、生活や服装のきまりなどについて説明していきます。この日のためにしっかり準備をしてきてくれました。児童たちにとっても、昨年・一昨年に小学校で見ていた時よりもグッと大人になった上級生の姿にビックリしたのではないのでしょうか。中学生になったらこんなにすくなくなるんだ、と十分に思わせてくれた生徒会執行部の面々でした。



各部活動のキャプテンたちが来て、それぞれの部活動の紹介を行いました。小学校との大きな違いが部活動の存在ですね。児童たちも興味満々といったところでしょう。

そしてラストは部活動見学。4つのグループに分かれ校内を走り回り（廊下は走ってはイケマセン）時間を惜しんで見学していました。さて、何部に入るのでしょうか？

6年生のみなさん、4月にお待ちしています！

